

2022年度 日本工学院専門学校											
音響芸術科											
キャリアプランニング 4											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	古川 敬祐・濱野 歩			実務経験	有	職種	エンジニア				
担当教員紹介											
映像音響機器の販売からシステム提案、スタジオ施工業務に8年間従事した経験を持つ。 テレビ局やポストプロダクション、エンターテインメント業界や医療現場まで幅広い分野にてシステム提案を行う。											
授業概要											
就職後の社会人としてのあり方を中心に学んでいく。受動的姿勢を能動的な姿勢に変えるためにも様々な仕事のあり方・考え方を準備してしっかりと会社の一員として活躍出来るようにしておく。入社後、丁寧に新入職員研修を行ってくれる会社もあれば、即戦力を求められる事も多い。事前に社会人としての基本的マナーとともに万が一仕事が上手くいかない時、ミスした時の対応も含めて手段を学ぶ。また、仕事以外でも充実した人生を送るための考察も行う。											
到達目標											
社会人として安定した姿勢で仕事に臨みながら、個人の人生も充実したものにすることを目標とする。近年では社員を大切にしていこうという風潮が世の中全体にある一方、技術の進化スピードも速く、技術的なことを研修で教えてくれる会社があっても社会人としてのあり方を細かく教えてくれる時間がなかなか取れない会社も多い。その部分を学んでいく。 まだ内定が得られていない学生も社会人のあり方を認識していくことにより、就活への利用ができるようにする。											
授業方法											
様々な会社の人事の方との話や、書籍・雑誌などに掲載されている経営者の考え方などを元に社会人への準備を行う。 近年の採用では技術は当然ながらコミュニケーションや社会人力を問われることも増えている。日常生活や学生生活で得られているものに加えて授業内で知識としても補っていく。											
成績評価方法											
課題 平常点	80% 20%	試験と課題を総合的に評価する 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。社会の動き業界の状況などを概説するので、自分でも情報を収集し、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を得ることができない。											
教科書教材											
参考書や参考資料等は必要に応じて配布する。											
回数	授業計画										
第1回	就職して最初に感じること：お金の話。初任給や税金の中身について理解する										
第2回	社会人最初に身につけて欲しいこと：仕事に対する3原則を理解し、行動できるようになる										
第3回	社会人に向けての準備 1：遅刻をしない、メールのマナー、目的意識について解る										
第4回	社会人に向けての準備 2：仕事の確認、記録の原則を理解する										
第5回	社会人に向けての準備 3：外部関連企業との連絡、あいさつ、チームワークと相談について理解する										

2022年度 日本工学院専門学校	
音響芸術科	
キャリアプランニング 4	
第6回	社会人に向けての準備 4 : 読書、身だしなみがしっかりできる
第7回	社会人に向けての準備 5 : 敬語の使い方、相手との距離感、尊敬の念を理解する
第8回	社会人に向けての準備 6 : ミス対策と休養、ワークの効率化が解る
第9回	社会人に向けての準備 7 : 仕事の仕上げと次へのまとめ。会議でのあり方を理解する
第10回	社会人に向けての準備 8 : プライベートの充実と勤務時間・仕事の整理とアウトプットを理解する
第11回	プレゼンテーション : プレゼンテーションの基本が解る
第12回	社会人に向けての準備 9 : コミュニケーションを広げる・ミスした時の対応ができる
第13回	社会人に向けての準備 10 : 自発的に仕事を覚えて行動できるようになる
第14回	後期復習 : 後期まとめ
第15回	仕事以外の社会人 : パートナーと家庭を持つ事について理解する